交響する古代 XVII

国際学術研究会

全体テーマ〈古代東アジア社会の史資料―モノとテクスト―V〉

2026
12.20日

開会挨拶 10:00～ 明治大学グローバルフロント1階
午前の部 グローバルホール

セッションⅠ「東北地方南部の弥生中期土器」10:05～

石川日出志 | 明治大学 名誉教授
弥生時代中期南御山2式土器の形成過程再考

佐藤祐輔 | 東北芸術工科大学芸術学部 准教授
福島県中通り地方からみる弥生中期後葉の土器型式

院生発表 11:30～

渡部颯大 | 明治大学大学院 博士後期課程
東日本における布留式系土器の受容 ―古墳時代前期の上毛野における畿内系土器の分布と変遷の検討から―

陳 泓錚 | 明治大学文学部助手・明治大学大学院博士後期課程
墨書土器からみた考課制度

午後の部

セッションⅡ「毛利家文庫旧蔵書」13:30～

村井良介 | 岡山大学学術研究院教育学域 教授
戦国期毛利「家中」構成員についての一考察
―新出の「国司家文書」「山縣家文書」から―

日比佳代子 | 明治大学博物館 学芸員
明治大学博物館所蔵毛利家旧蔵の古文書と「山縣家文書」について ―公爵毛利家の修史事業から―

セッションⅢ「古代史学の史・資料と歴史解釈」15:25～

吉村武彦 | 明治大学 名誉教授
『日本書紀』の編修と読解

渡部敦寛 | 茅ヶ崎市博物館 学芸員
古代相模国高座郡の出土文字資料について
―本村居村B遺跡出土四号木簡の再検討を中心に―

閉会挨拶 17:05～

対面・オンライン併用開催

どちらの参加方法でも、事前申し込みが必要です。
（12月16日締切、対面は先着100名）
https://www.isc.meiji.ac.jp/~meikodai/obj_info.html#kokyo17

主催：明治大学日本古代学研究所

共催：科学研究費 基盤研究(A)「双方向性をもつ墨書土器プラットフォームの構築と墨書土器研究の新展開」（研究代表者：吉村武彦）
科学研究費 基盤研究(B)「中近世毛利家における知的体系の復原的研究―明治大学図書館所蔵毛利家旧蔵書を起点に」（研究代表者：牧野淳司）
科学研究費 基盤研究(C)「土器型式の動態から見た弥生時代中期日本列島社会の変革」（研究代表者：石川日出志）